創造・参加・実践
No.707

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP（http://www.jrw-union.gr.jp）
JR西労組 LINE@ 新規登録受付中
「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録！　@dzc0159s

JR西労組 WEST UNION

西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012　大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL06-6375-9869㈹　JR071-7155㈹
(FAX)06-6373-4133　JR071-7151
発行責任者　上村 良成
編集責任者　田中 佑佳

安全・安定輸送に日夜奮闘している組合員と家族のためにも、みんなで力を合わせて難局を乗り越えよう!!

ユニオンカレッジ 第200期「教育エキスパートコース」開催

西労組運動の歴史を振返り、次代に向けての気付きを得る

1995年5月に第1期ユニオンカレッジを開校して以来、200期の節目を迎え、なぜ、労働運動にとって教育が必要なのか、労働組合という「組織運動」の中での、教育の重要性を再認識する研修として、中央本部は、9月16日(金)～17日(土)にかけて、ユニオンカレッジ第200期「教育エキスパートコース」を、友愛の丘にて開催し、各地本・総支部の組織部長・教育部長など21名が参加した。

節目となる第200期ユニオンカレッジの参加者

第200期の記念として植樹を行った

初めに、田中教育部長が、第1期からこれまでのユニカレを振返り、教育に対する考え方や、歴代の教育部長が、その当時の西労組の情勢を踏まえた研修やカリキュラムを組んでいることを伝えた。

次に、労働組合運動の中で教育が持つ意味を学び、石田原組織部長から、今の西労組にとって、求心力を高めること、西労組のこれまでの取り組みを伝えていくことが、重要であると伝えられた。

その後、各受講生が、それぞれの地本・総支部で行われている教育活動を紹介した。どの地本・総支部も、それぞれ工夫を凝らした教育活動を行っていることを知ることができたとともに、コロナ禍における悩みや苦労を共有することができた。

上村委員長による講義

そして、「歴代教育部長に学ぶ」と題して、元教育部長の山口功氏、角南仁志氏、里内義次氏と、ユニカレ第1期からご協力いただいている富士社会教育センターの花田参与から、当時の西労組の状況や組織率を踏まえた活動についての経験談や、教育に対する思いに加え、後輩役員に対し、「後輩に背中をみせることが大切」、「人間関係が信頼関係を築く」などの熱いメッセージが伝えられた。

歴代の教育部長

2日目には、元教育部長よりでもある上村執行委員長より、西労組結成からこれまでの取り組みについて、また、これからの西労組を担う役員として期待することについて講義を受けた。

最後に、「コロナ禍を経て今できる組合活動」をテーマに、ディスカッションを行い、研修は修了した。

受講生が各地本・総支部の教育活動を報告

研修を終え、受講生からは、「貴重な体験談を聞けたことで、実感が沸き、先輩方からのメッセージが心に響いた」「西労組の歴史を知ることができ、今後、組合活動を進めるうえでの気付きを得ることができた」などといった感想を聞くことができた。

今研修では、第200期を記念し、「魅力」や「寛容」を意味する花言葉を持つクロガネモチの植樹を行った。記念樹は友愛の丘で育てられ、西労組ユニオンカレッジの歴史として残されることになる。

これまでの教育を振り返ることで、西労組の運動を知ることができた良い機会となったと同時に、これからも先輩方の思いを繋ぎながら、新たな次代の教育活動を築いていくこととする。

グループディスカッションで今後の教育活動の方向を議論

新幹線協議会 第16回 定期総会

新幹線協議会は9月3日(土)に、リファレンス駅東ビルにおいて、第16回定期総会を開催した。総会には、総会委員、幹事会、来賓を含めて、約60名が出席した。

冒頭、米村議長は、安全確立と事故の教訓化、ポストコロナと社会変容への対応、総合労働協約改訂交渉、冬のボーナス再交渉、2023春闘について、課題提起を行った。

新幹線協議会米村議長の団結ガンバロー

全体質疑では、5名の委員から、乗組数の見直し、鉄道MMS、テレワーク端末の増設等の業務課題、今後の地方協議会のあり方について、11項目の発言があり、田中事務局長の総括答弁の後、米村議長の団結ガンバローで総会を締めくくった。

近畿協議会 第13回 定期総会

近畿協議会は9月9日(金)に、TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテルにおいて、第13回定期総会を開催した。

近畿協議会大内議長の団結ガンバロー

総会には、総会委員、幹事会、来賓を含めて、約70名が出席した。

冒頭、大内議長は、安全業務課題について、課題提起を行った。

全体質疑では、委員から、異線進入事象、施策の説明等について発言があり、内田事務局長の総括答弁の後、大内議長の団結ガンバローで総会を締めくくった。

また、第1回の成立幹事会では、福知山地本の野垣委員長、尾﨑書記長、和歌山地本の宇田委員長、脇村書記長が、特別幹事として承認され、近畿協議会の新たなメンバーとして加わった。

新型コロナウイルス感染症「みなし入院時の共済給付」見直し

新型コロナウイルス感染症について、政府から全数把握の見直しと感染者の療養期間の短縮が公表されたことを受け、新型コロナウイルス感染症罹患時にみなし入院（宿泊療養又は自宅療養）を行った場合の共済給付の取り扱いが下記の通り見直されました。

◎対象の共済制度：

交運共済
◆総合共済（入院見舞金）◆入院共済

こくみん共済coop〈全労済〉
◆アシスト
※個人加入している共済を含む

★ＪＲ連合「私傷病共済」の取り扱いは変更なし

◎見直し日：2022年9月26日
※9月25日までに新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、これまで通りの対応を継続

◎見直し内容：
みなし入院（宿泊療養、自宅療養）の給付対象は、重症化リスクの高い方のみ

重症化リスクの高い方（みなし入院の対象となる方）
1. 65歳以上
2. 入院を要する方
3. 重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症の治療薬の投与または新型コロナウイルス感染症罹患による酸素投与が必要な方
4. 妊婦

ケース		陽性判明日（診断日） 9月25日まで	9月26日以降
入院された場合		○ 支払い対象	○ 支払い対象
宿泊療養・自宅療養された場合（みなし入院）	重症化リスクの高い方（①～④の方）	○ 支払い対象	○ 支払い対象
	上記以外の方	○ 支払い対象	× 支払い対象外

川柳　第23回文化・文芸作品コンクール／川柳・標語部門　［ 密を避け　密に連携　団結だ ］　結城 庸平さん（大阪地本・京橋車掌区分会）